

医療安全だより

体調管理も医療安全では必要です！

早いもので5月もあつという間に終わろうとしています。暑い日、寒い日気温の変化に体がついて来れず体調を崩しやすい陽気となっておりますが、職員の皆さん体調はいかがですか？体調がすぐれないまま我慢して働いていると、確認作業が十分に行えず医療事故に繋がる可能性が高くなります。私自身頭痛がする時に患者さんに採血しなければならない場面がありました。その時準備が不足してしまい0レベルインシデントを発生させてしまった事があります。お忙しいとは思いますが、自分の体に目を向け、体調管理に十分注意する事も医療安全の取り組みのひとつだと思います。



多職種で取り組む医療安全



先日、東日本地域病院の医療安全グループミーティングに参加しました。その中で、「医療安全の取り組みは自部署だけで行うのではなく、様々な部署と連携して取り組みたい。」と目標を立案している病院が多いと感じました。湯河原病院では院内ラウンドや、医療安全の取り組みを通して様々な部署と関わる取り組みを行ってきました。しかし、まだまだ連携と言った部分では十分に行うことができていません。今年度更にみなさんと連携し、患者さんのための医療安全を取り組んでいきたいと考え、転倒転落ラウンドをはじめました。第1回目のラウンドは看護部のリンクと、薬剤部の矢戸さん、リハ室の石月さん、野口さんと一緒に

事例を検討した後、部署を回ることができました。その中で薬が転倒に与える影響、飲み方など矢戸さんからたくさんの意見をいただきました。また石月さん、野口さんからは訓練中の様子、環境についてのご意見など患者さんのADL面での意見をいただくことができました。患者さんを、様々な角度から検討する事で対策の幅も広がりました。今回の取り組みは始めたばかりで試行錯誤の部分も多いですが、少しでも成果に繋げる事ができる様取り組んでいきたいと思っております。ぜひ自分もラウンドに参加してみたいという方がいらっしゃいましたらいつでも連絡ください。

